

# 母親ノート法第I章

---

1

はじめに

---

- 現代の子育てが抱えているのは、精神的なものである。
- 思春期が難しいのは文明のせいである
- 文明が発達し、人口が増加するにつれ、心が大人に成長するのが難しくなっている。

2

文明社会・情報社会は直接経験を減少させる

---

- 交通事故で3人亡くなったニュースを聞くのと、血まみれの遺体に現場で接するのとの違い。
- 確かめようのない情報は先入観になりやすく、不安を起こしやすい。
- ムードで感じてしまい、思い込みや偏見に囚われやすい
- 子育ても同じ
- 車に気を付けるようやかましく言われた子は聞き流して車にはねられる

3

情報社会は不安を増す

---

- 子どもの愚痴ばかりを聞いた父親は子どもよくは思えない
- 野生動物は子どもの育児を外注しない。自分で育てる
- (例) 先生⇒親  
「彼は明るくてとてもいい子ですね」⇒親喜ぶ⇒子、先生好きになる  
⇒勉強しようという気になる  
「彼は...でも、この成績では高校へはいけません」⇒親叱る  
⇒子、先生嫌いになる⇒余計に勉強しなくなる。

4

情報は不安な事を感じ強く受け取られてしま  
う。

⇒信頼関係を失う

⇒元来持っているいいものさえ失われてしま  
う

⇒ニュースでは際立ったことしか報道されな  
い

(いい人の方が多いにもかかわらず)

5

心の問題には「なぜ」が必要ない

• 「私はあなたを陰から10年お慕いしていました。」

どうして10年も？

どうして陰から？

どうして僕を慕うの？

死にたい気持ちになってしまう。

「どうして学校に行かないの？」も同じレベル。

6

皆さんの平均の心理幅はどれくらいですか？

- 偏差値がもたらす心理的影響が弊害になっている
- 平均点70点のテストで子どもに何点取ってほしい？
- イメージが子どもの気持ちを損なってしまう
- 親が安心できる点数が子どもがとりたい点数
- 普通の範囲が狭い⇒自分がダメな奴だと思ってしまう

7

本当の平均を知っていますか？

- 平均には幅がある
- 自分の幅が広い事が気持ちの安定につながってい  
く

8